地域に資する国際的な日本語教育人材を育てる

～金沢大学の事例～

日本語教育実習A（2022年度）の実習風景

世界各地の社会的要請に対応可能な
日本語教育シンポジウム
ラウンドテーブル２
「教師を育てる多様な方法」

＠東京国際交流館 プラザ平成

太田　亨

OTA,　AKIRA

金沢大学

（国際機構 副機構長・教授）

（国際学類・準専任教員）

（大学院人間社会環境研究科
国際学専攻・専任教員）

2023/9/25

金沢大学の概要，大学憲章に掲げられた基本理念

「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」

金沢大学の概要と将来構想 Overview and Future vision

学生や教職員が誇りと愛着を持ち，人が輝く金沢大学

金沢大学は、1862（文久2）年に創設された加賀藩彦三種痘所を源流とし、旧制第四高等学校などの前身校の歴史と伝統を受け継ぐ総合大学です。豊かな伝統文化が醸成された学都金沢の恵まれた環境に位置します。160年という長い歴史の中で、わが国の高等教育と学術研究の興隆に貢献し、我が国を代表する基幹的大学へと発展してきました。現在に至るまで、教育、研究およびそれらを基にした社会貢献により地域と世界に資するべく、不断の改革を続けています（学長メッセージより抜粋）。諸先輩が築き上げてきた歴史を礎に、金沢大学憲章に掲げる「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」という基本理念に立脚して、金沢大学の揺るぎない未来ビジョンを『志』として、学内並びに社会に示します。

KANAZAWA UNIVERSITY

金沢大学での所属

- 旧「留学生センター」
- 現：-国際化に関する事業を統括
  - -国際化を推進する役割
  - -外国人留学生に対する日本語教育、日本文化教育の提供
  - -派遣留学プログラムの促進

金沢大学国際機構
Organization of Global Affairs

HOME | 国際機構について | 海外→金沢大学 | 金沢大学→海外

国際機構について

› 機構長ごあいさつ

目的と役割

国際機構は，本学における国際化に関する事業を統括し，本学の国際化を推進する役割を担っています。

- **国際連携部門**
  国際連携戦略の策定及び国際交流の充実並びに国際研究交流支援及び国際協力に関する業務を行う
- **国際教育部門**
  外国人留学生，外国人研究者及び海外研修や海外留学を希望する学生に対する支援並びに外国人留学生に対する各種教育，研修プログラム等の提供を行う
- **スーパーグローバルELPセンター**
  教員，事務職員，学生等のそれぞれに適した「英語研修プログラム（ELP：English Language Programs）」を企画・開発するとともに，定常的に実施するなど，本学の全ての構成員の英語力強化に寄与する。

2023.07.13 その他 非常勤講師（留学生の日本語科目担当）の公募につ

2023.06.29 文化体験
金沢大学留学生の茶器展　Chaki Exhibition 2023 Pottery Art Created by International St

2023.04.19 日本人学生向け 2023年度春学期(Q1)総合日本語プログラム日本語ク

金沢大学の日本語教員養成 (1)

KANAZAWA UNIVERSITY

教育組織

学域・学類　人間社会学域 国際学類

融合学域

- 先導学類
- 観光デザイン学類
- スマート創成科学類

人間社会学域

- 人文学類
- 法学類
- 経済学類
- 学校教育学類
  - 附属教育実践支援センター
  - 附属学校園
- 地域創造学類
- 国際学類

理工学域

- 数物科学類
- 物質化学類
- 機械工学類
- フロンティア工学類
- 電子情報通信学類
- 地球社会基盤学類
- 生命理工学類
- 理工学域附属能登海洋水産センター

医薬保健学域

- 医学類
- 薬学類
  - 薬学類附属薬用植物園
- 医薬科学類
- 保健学類

大学院　博士前期課程　人間社会環境研究科

- 人間社会環境研究科
- 自然科学研究科
- 医薬保健学総合研究科
  - 医学博士課程，修士課程（医科学専攻）
  - 薬学専攻・創薬科学専攻
  - 保健学専攻
- 先進予防医学研究科
- 新学術創成研究科
- 法学研究科（法科大学院）
- 教職実践研究科（教職大学院）
- 連合大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学　連合小児発達学研究科
  - 金沢校

金沢大学の日本語教員養成 (2)

KANAZAWA UNIVERSITY

学士課程と大学院課程

インクルシーブ社会構築系
日本語教育プログラム

国際学専攻
日本語教育・日本文化研究コース

金沢大学の日本語教員養成 (3)

KANAZAWA UNIVERSITY

カリキュラム概要・特色

カリキュラムの特色

国際学類

プログラム制は従来の国際学類の教育方針や強みを維持したまま、さらに柔軟で多様な学びを可能にする仕組みです。

1. 国際学類は国際社会を歴史・文化・政治・経済・法律等の学問分野から多面的に理解し、国際社会のニーズに応える多彩な科目を提供しています。
2. また、従来の文系学部で提供される語学以上に、実践面に力点を置いた語学教育を提供します。とくに英語ですが、それ以外にも多数の語学教育プログラムをそろえています。
3. わたしたちは日本社会に対する深い理解がなければ、国際社会で活躍し、高い評価を得ることはできません。国際学類には日本語教師養成も含めて、日本の歴史・文化・社会を幅広く学ぶ科目が揃っています。
4. 国際学類に入学する学生の多くは、在学中の海外留学を目指します。国際学類では海外提携大学への語学研修や留学を行うための十分な支援体制を整えています。
5. そして、入学後の導入科目から卒業論文まで、少人数の学生に対して各分野の専門家が丁寧な指導体制を組んでいます。
6. 国際学類の学生は2年次に複数のプログラムを選択し、その中から3年次に主専攻プログラムを決定します。これにより、広く横断的な学問的知識を身に着けるとともに、より明確な問題意識で専門分野の知見を深めることができる、そんな仕組みです。

わたしたちは日本社会に対する深い理解がなければ、国際社会で活躍し、高い評価を得ることはできません。国際学類には日本語教師養成も含めて、日本の歴史・文化・社会を幅広く学ぶ教科が揃っています。

社会のグローバル化が進む中で，実践的な外国語運用能力をもち，国際社会の諸問題や異文化への強い関心と専門知識を備えて国際社会で活躍できる人材，日本語による豊かなコミュニケーション能力をもち，日本語・日本文化とその教授法に関する専門知識を備えて国際社会で活躍できる日本語教師等の人材を養成します。

KANAZAWA UNIVERSITY

国際学類の日本語教員養成課程 (1)

学士課程でのプログラム内容

日本語教育プログラム

日本語，日本語教育，日本文化について深く学び，質の高い日本語教師を目指す

世界で日本文化への関心が高まり，深い知識と教授力を持つ日本語教師が求められています。日本語教育プログラムは，日本語教師を中心に国際的に活躍する人材を養成するプログラム。日本がこれまで以上に外国人を受け入れていく時代に貢献できる人材を養成します。

プログラムの理念・教育目標

日本語教育専攻資格のための専門科目を中心に学び，日本語や日本語教育，日本文化の専門知識はもちろん，「日本語教授法」「日本語教育実習」等の演習・実習科目で実践力を身につけます。グローバル時代の国際社会や日本社会についての理解と，外国語でのコミュニケーション力を生かして日本語を教える能力の修得を目指します。

プログラムの特徴的な科目

本プログラムは，日本語教育人材の養成を主目的としたプログラムとして，2019年に文化庁文化庁から出された「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）改定版」に準拠した多彩な科目（「社会・文化・地域」「言語と社会」「言語と心理」「言語と教育」「言語」の5分野）を修得できるようになっています。日本語教育，日本語学，日本文化に関する基礎的な科目はもちろんのこと，日本語教師としての実践力を高めるための「日本語教授法」「日本語教育実習」等の科目も充実しています。希望者には海外教育実習も開講されていますし，金沢市内の日本語学校や日本語教育機関でのインターンシップにも参加できます。また，外国籍年少者への日本語支援活動や留学生のチューターなど，多様な実践的活動の場が準備されています。

プログラム専門科目

日本語教育学基礎，日本語教育史，日本語教科書研究，第二言語習得論，日本語教育評価法，日本語教育とICT，発達と学習の心理，日本語教授法，日本語教育実習，海外日本語教育実習，日本語学概論，言語学概論，日本語文法，日本語音声学，日本語史，社会言語学，対照言語学，認知言語学

国際学類：ベトナム国家大学外国語大学（ハノイ），大学院：インドネシア教育大学

KANAZAWA UNIVERSITY

国際学類の日本語教員養成課程 (2)

日本語教育実習
Webシラバス

日本語教育実習A（中級レベル・教室内）

授業の主題

日本語教育を行うために学んできた理論を実践に移すための授業である。受講生は国際機構留学生教育部で行われている実際の日本語授業を見学し，理論がどのように実践に移されるかをイメージする。そして，その後は受講生が自分で一つの授業を計画し，教案書きから教材作成，そして授業を実際に行って，日本語教育を「体得」していく授業である。

学修目標（到達目標）

「日本語教授法A」から「日本語教授法B」を通して学んできた授業内容を土台とし，さらに日本語授業の見学や実習を通して日本語教育を実践的に学ぶ。更に，本実習で学んだ事柄を次の「日本語教育実習B」へとつなげることを目標とする。

日本語教育実習B（活動型日本語教育）

授業の主題

活動型日本語教育の理念と方法を理解し、実践する。

学修目標（到達目標）

1：活動型日本語教育の理念を理解する。
2：活動型日本語教育をデザインし、実践する。
3：実践研究として活動を総括する。

授業概要

この授業では，活動型日本語教育のデザインし、計画したうえで，実践を実施する。

金沢大学の日本語教員養成 (4)

KANAZAWA UNIVERSITY

卒業論文と修士論文のテーマ

卒業論文テーマ（例）

- 日本語指導が必要な生徒に対するキャリア教育
- 国際家庭における親の言語教育観
- 学生による日本語学習支援ボランティアに関する研究　–「たけのこ」活動の実践から–
- 外国にルーツを持つ高校生の歴史学習における学習補助教材の開発
- 石川県における地域日本語教室とそのネットワーク

修士論文テーマ（例）

- 外国人散在地域におけるCLD児支援の連携体制構築に向けて
- 外国人散在地域における地域日本語教育の役割
  ー散在地域に新設された日本語教室を事例としてー
- 外国にルーツを持つ児童生徒の教科学習における困難点に関する研究
- 留学生配偶者に対する日本語学習支援

KANAZAWA UNIVERSITY

金沢大学の日本語教員養成(5)

卒業・終了後の進路（まとめ）

学士課程	学生数	大学院進学	日本語学校	海外派遣	就 職	うち公務員	うち教員
2018年度	13	2	0	1	10	2	0
2019年度	12	4	1	0	7	2	1
2020年度	5	0	0	0	4	1	0
2021年度	17	4	1	0	11	1	0
2022年度	13	3	0	0	10	0	0

学類定員　/81

修士課程	学生数	博士進学	大学教員	就 職	うち公務員	うち教員
2018年度	3(3)	1(1)				
2019年度	7(6)	2(2)	1(1)	1		
2020年度	6(4)			3(2)	1	1(1)
2021年度	7(4)			6(2)	1	2(1)
2022年度	6(5)	1(1)		3(1)	1	

国際学専攻定員　/10

＊空白行はデータが揃っていなかったことを示す

( ) 留学生数

KANAZAWA UNIVERSITY

金沢大学の日本語教員養成(6)

卒業・終了後の具体的な進路

卒業生，修了生の日本語教育関係の進路　（深澤のぞみ・名誉教授のゼミの例）

■大学の常勤職・非常勤講師など
金沢大学，北陸大学，富山大学，福井大学、東京大学
岡山大学，名古屋大学、明治学院大学、慶應義塾大学

■海外の大学
マラヤ大学（マレーシア），経貿外国語学院（中国），泰日工業大学（タイ）
チャンカセーム　ラチャパット大学（タイ）

■日本語学校および専門学校
アリス学園，スバル学院，東京国際ビジネスカレッジ，文化外国語専門学校，YMCA
福井ランゲージアカデミー、富山情報ビジネス専門学校

■小学校・中学校・高等学校など
金沢大学附属小学校

■その他の専門職など
国際交流基金　日本語専門家（カンボジア）
JICA　青年海外協力隊（日本語教育，パラグアイ）、JICA本部
日本国際協力センター（JICE）
金沢国際交流財団（KIEF）

本発表のまとめ

KANAZAWA UNIVERSITY

1. 金沢大学の日本語教員養成課程は、「国際学類」（学士課程）、「国際学専攻」（大学院修士課程）に位置づけられている。
2. 日本語専攻科目以外にも、「国際社会での活躍」と「外国語の運用能力を併せ持つ」人材の育成が目指されていて、学生が地域の日本語教室や、外国にルーツを持つ児童・生徒の日本語教育へと関心を向けることにつながっている。
3. 卒業生・修了生の進路：一般的な就職のほかに、公務員（国際交流部門）、教員（海外協定校との交流）、地域や大都市圏の日本語学校、大学院進学、大学院の留学生が母国に戻って教員として就職するキャリアパスがある。
4. 「地域と世界に開かれた教育」（金沢大学憲章・基本理念）を体現化している。

ご清聴ありがとうございました.

太田　亨（おおた・あきら）

akirao@staff.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

世界各地の社会的要請に対応可能な
日本語教育シンポジウム
　ラウンドテーブル２
　「教師を育てる多様な方法」

＠東京国際交流館 プラザ平成